

# 脱原発・放射能汚染を考える

No.359 2026年3月16日  
脱原発・放射能汚染を考える北摂の会  
west\_umi@khc.biglobe.ne.jp

## さよなら原発 関西アクションに400人が参加！ 中之島公園・女性像前 3月8日 集会とデモ行進

東電福島第一原発の重大事故から15年、事故原発はまだ終息せず、溶けた燃料デブリは回収のめどが立たず、冷却し続けなければ危険な状態。福島では多くの労働者が放射能の危険な環境の中で労働しており、2万人を超える避難者、核汚染の下で生活を強いられる多くの住民がいる。汚染水の海洋投棄、除染土の再生利用。福島原発事故の教訓を逆転させ、岸田政権が「原発再推進」に切り替え、高市内閣は老朽原発の再稼働を強引に進めている。

関西の反原発の41団体の賛同で開催された「さよなら原発関西アクション」は中之島公園・女性像前で3月8日に400人の市民の参加で開催された。

主催者挨拶に続き、福島県から参加の佐藤知良(脱原発福島ネット)さんが「終わらない福島第一原発事故」のテーマで講演を行った。廃炉計画は大幅に遅れており、すでに2051年廃炉計画は破綻していること。処理汚染水の海洋投棄、除染汚染土の全国への処分計画、帰還困難地区への住民の健康・安全無視の帰還策動などが指摘された。(要旨は次頁に掲載)

福井県から参加の石地優さんは、福井で原発を止める最後の機会との思いで、関電の原発構内での乾式貯蔵施設の設置を止めることに全力を注がれている。その意義と闘いが報告された。

長野たかし&あやこさん(フォークデュオ)の権力に対する怒りの唄「灰色の街」などが歌われた。

福島から兵庫県への避難者のひとりであり、原発賠償関西訴訟の原告である菅野みずえさんから、東電福島事故は他人事ではないこと、「原発がある限り次はあなたの番」との訴えが行われた。

### 集会決議文(要旨)

原発事故から15年。緊急事態宣言は解除されず、2万4千人以上が避難を強いられ、事故は終わっていない。

事故の教訓でドイツや台湾は脱原発となりましたが、わが国は原発回帰を鮮明にしました。使用済核燃料問題、原発の耐震性、再処理工場操業、核燃料サイクルの矛盾はまったなしです。脱原発へ舵を切るべき時です。

### 西梅田までデモ行進

集会終了後、中之島公園から御堂筋を經由して西梅田までデモ行進を行った。多くの市民、旅行者に、「すべての原発を廃炉に」と声をあげた。



12式地对艦誘導弾



抗議する住民



搬入する車両

## 「12式地对艦誘導弾(能力向上型)」ミサイルを 住民に隠れて深夜に熊本・健軍駐屯地に搬入

小泉防衛相が定例記者会見で健軍駐屯地にミサイルを配備するときには、住民に説明をしようと言いつつ、8日の深夜に長距離ミサイルを健軍駐屯地に搬入した。深夜にも関わらず、地元住民団体、「沖西ネット」など100人が駐屯地前に結集し、「長射程ミサイルの熊本配備反対!」「熊本を戦場にするな」の怒りの声をあげた。自衛隊は表門には偽車両を送り、裏門から搬送車両を搬入させた。健軍駐屯地では、機器の整備と隊員への教育を実施し、月内に配備。

静岡県富士駐屯地に配備予定の「高速滑空弾」と並び、反撃能力となるミサイルの初めての配備である。

説明会もせず、隠れて、そして市民を騙しての搬入には、熊本市長は「大変遺憾」、知事も「丁寧な説明を求めたい」と発言した。

### 12式地对艦誘導弾(能力向上型)

約1000\*、飛翔可能で九州から中国大陸沿岸部にとどく。政府は、敵が攻撃に着手したと認定すれば、被害を受ける前でも発射するとしている。先制攻撃となる危険性が極めて高いものである。

## 福島原発事故から15年 原発事故は終息していない

環境の放射能汚染が続き、労働者の被曝事故は頻発、多くの住民が避難

東日本大震災と東電福島第一原発事故から15年、政府の原子力緊急事態宣言は発布されたままで、原発事故は、いまだ終息していない。放射性物質を大気中と海洋に放出して、環境の放射能汚染が続き、労働者の被曝事故が頻発する、困難な事故収束作業が継続している。

### 廃炉計画は大幅に遅れている

国と東電は2024年に3年遅れで燃料デブリ約0.7gを試験的に取り出し、「廃止措置等に向けた中長期計画」の「第3期」への移行と強弁したが、総量880トンとされる燃料デブリの取り出し準備に約15年、着手は2037年以降で、福島県民との約束の2051年廃炉計画の破綻は明らかである。

### ALPS処理汚染水の海洋投棄

ALPS処理汚染水は、漁業者との約束に反して海洋投棄が強行された。福島県漁協は反対を堅持し、漁業者と市民による「ALPS 処理汚染水差止訴訟」も継続中。国は、海洋投棄に反対する人々を「風評加害」と攻撃している。

### 除染汚染土の処分

国は、中間貯蔵施設に搬入された汚染土の減量のため「福島県内除去土壌等の県外最終処分の実現に向けた基本方針とロードマップ」を昨年策定した。8,000 ベクレル/kg 以下なら安全に処理できるとして、作業従事者や周辺住民の被ばくリスクを過小評価し、除去土壌を「再生資材」として全国で花壇や道路工事に利用しようとしている。

### 帰還困難地域の対策

帰還困難区域の住民の「帰還したいとの思い」を悪用し、困難地域における「立入規制の緩和」、「区域から個人へ」、「活動の自由化」など、放射線被ばくの管理責任を個人に転嫁し、帰還困難区域の除染や活動規制の「国の責任」を放棄しようとしている。「特定帰還居住区域における放射線防護対策」は、個人の追加被ばく線量を、「年間20mSv 以下」を適用することで、全面的除染をせず避難指示解除をしないまま活動を認めることで、「国の責務」を放棄し、「個人の自己責任」にしようとしている。

## 再稼働予定の原発で頻発するごまかしと事故、不正 このまま再稼働を強行すれば大事故の危険！

岸田元首相が「原発再推進」を方針化し、石破前首相、そして高市首相が原発の再稼働を強行しようとしている。福島原発事故以来停止していた新潟の柏崎刈羽原発の再稼働での故障の頻発、北海道泊原発、そして静岡浜岡原発での基準地震動の不正データなどが発覚。再処理工場はごまかしの「完成計画」など、電力会社の安全意識の低下と技術・管理能力のなさを示している。このまま再稼働が強行されれば、大事故につながりかねない。

### 柏崎刈羽原発の再稼働は安全性に反する

花角新潟県知事は12月4日の県議会に再稼働を容認する考えを示し、各党の信任・不信任の意向を集約するとした。自民党は賛成し、野党各党は、「県民の60%は稼働に反対」であるとして、東電の管理能力不足、事故時の避難の経路と安全性などの問題が残っているとして反対したが、賛成多数で6号機で再稼働が強行された。



柏崎原発6号

1月17日に「制御棒引抜き検査」で異常が発生したが、

東電は「設定ミス」、「修正し回復した」として21日に稼働を開始した。ところが5時間でまた警報が鳴り復旧せず。2月5日には検出器が敏感過ぎて警報が鳴ったので、「警報を使用しない」として、9日に再稼働させた。その4日後に「中性子計測装置」の異常で再び停止。「スイッチの接触不良が原因であった」としてスイッチを取り換えて再稼働というような不始末続きである。

### 静岡県浜岡原発が偽データで規制委を騙した

中部電力は、浜岡原発直下の活断層を否定し、2014年から再稼働手続きを進め、その過程で、意図的に、地震で想定される地震の揺れ(基準地震動)を小さく計算し、原子力規制委員会の審査に提出していた。その虚偽の値が規制委で、23年9月に妥当とされその数値で審査が進められていた。「公益通報」によってその虚偽が明らかになり、審査は全面やり直し。騙された規制委は、他の原発の再調査を拒否し、電力会社に「正当なデータだと確認した」としている。安全意識はどこに？

### 再処理工場の完成計画は不正の計画

完成が27回も遅れ、31年たっても完成しない「再処理工場」。現在は26年度中に完成としているが、再処理の中心設備の「ガラス固化」装置は強度汚染して検査もできない。今回は検査を「完成後」として、形だけの「完成」にして、関電の核のゴミを受け入れようとしている。

# 奇襲とカラ人気の第2次高市内閣の極右政策を打破しよう！

政策論争から逃げ、小選挙区制とカラ人気で圧勝した第2次高市内閣が2月18日に発足した。高市首相は20日の国会で施政方針演説を行った。

演説は「日本列島を強く豊かに」との言葉で始まり、「外交力、防衛力、経済力、技術力、そして人材力。日本の総合的な国力を徹底的に強くしていく。そのために政策の在り方を根本的に転換していく」と述べた。特徴的なことは国民の幸福、生活の向上は無視され、国民は「人材力」として国家に尽くすものとして扱われている。

## ◆第2次高市内閣の主な政策◆

### <責任ある積極財政>

成長投資、危機管理投資の推進  
2年間の食品消費税ゼロの検討

### <安全保障政策の抜本的強化>

防衛装備品輸出 5類型の撤廃  
安保関連3文書の年内改訂  
防衛力強化（防衛費の増額）

### <インテリジェンス機能強化>

国家情報局の創設  
スパイ防止法の制定  
対外情報機関の創設

### <憲法改悪などの施策>

憲法9条改悪、緊急事態条項  
男系継承の皇室典範  
旧姓通称使用の法制化  
日本国国章損壊罪の創設

### <外国人政策>

外国人違法行為の厳罰化  
外国人の土地取得規制強化

演説は「責任ある積極財政」をキーに、経済安全保障、食糧安全保障、資源安全保障、健康医療安全保障、国土強靱化、危機管理投資、AI・半導体などの成長投資が強調される。その「頭出し」としての来年度予算の早期成立が提起される。

以後、「技術力」から「治安・安全」と続き、最後の「むすび」で、「昭和100年記念式典」、そして各議院に設置された憲法審査会での議論の加速化、国会での憲法改正発議の早期実現が強調。

## ◆予算案の年度内成立に向け強引な国会運営

「26年度当初予算」は衆院解散により論議の時間がない中で、常識的には年度内成立は無理。

予算審議の中心の首相が出席する集中審議は少なく、首相は野党の追及を避けようとしている。自民党は野党を無視して職権で日曜日に地方公聴会を開くなど専横な議会運営を行っている。分野別審議の「分科会」の開催も危ぶまれている。自民党は国会の民主主義的運営を守るべきである。

## 紹介 『POSSE』VOL.61 「選挙以外で社会を変える／ネット以外で社会を変える」

2026.1.28 (発行)NPO 法人 POSSE (発売)城内出版

### ■ リベラルの敗北は止まらない 真の希望とは ナンシー・フレイザー(フェミニスト・政治学者)

(1)トランプを生んだのは「リベラル」への民衆の拒絶だった。オバマは「経済」で労働者を見捨て、「承認」でリベラルを取り込んだ／人々は1%のための「多様性」にうんざりした／「リベラルなフェミニズム」と「99%のためのフェミニズム」／トランプ主義は、もはや「通常の」ブルジョワ支配ではない。強制の側面が前面に出てきている。(2)マムダニ市長に全てを期待するな！NY市長選の本当の「希望」とは「階級」と「多様性」を結合させた「街に住み続ける権利」／多様性による分断でなく、多様な労働者階級の連合を／だれが「労働者」なのか？／階級のアイデンティティを再想像せよ！／労働者階級をより広く包摂的に、より多様に／マムダニ市長を待ち受ける「妥協」の誘惑？だからこそ運動次第だ

### ■ 左派に本当に必要なのは、選挙の勝利ではない キア・ミルバーン

2010年代、若者の左傾化が世界中で社会現象となり「左翼世代」と呼ばれた。2020年代後半の今、彼らはどうなっているのか。...

### ■ 右派も左派もアルゴリズムからは逃げられない 佐々木隆治

参政党だけでなく、リベラルも左派も影響を受けている／アルゴリズムによって「構想と実行の分離」が生活領域に拡大／絶えず商品への欲望を煽るレント資本主義／囲いこまれた「コモン」としてのインターネット／コモンは修復困難までに破壊されようとしている／産業資本主義、金融資本主義、そしてレント資本主義の時代へ／レント資本主義に対抗する運動はどこにあるのか？具体的ビジョンは描けていない。／人類史的なレベルの大きな変革は起きるものであって、起こすものではない。

### ■ 選挙以外で／ネット以外で社会を変えるには 岩本菜々ほか4人の若者の語り合い

(1)NY市長選の反響から見落とされたもの マムダニの勝利は SNS のおかげではない／参政党が猛追した宮城県知事選はNY市長選と共通している？／SNS利用やデマだけでは説明できない／「リアリズム」の政治主義か、「不可能」に挑む社会運動か？(2)日本の左派は SNS に取り込まれてしまった？「あいつが悪い」とアルゴリズムの親和性／「自己責任論」から、「自分でなく他の誰かが悪い」に／左派はSNS上で空中戦をするだけで社会を捉えていない(3)SNSを抜け出す社会運動をつくるには メディアやSNSでバズることを目標にすると、こちらの思考がそこに規定される／SNSに頼らない運動の作り方を考えることが重要。(4)大胆なビジョンを掲げた現場の実践を 大胆な要求自体が現場から出てくる。いざ要求を実現するとなった時、国や企業に対する「物乞い主義」「政治主義」では不可能。実現するには組織を作ることが必要。



### 核のゴミ、南鳥島で文献調査へ (神戸 3/3)

経産省は、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定をめぐり、文献調査を太平洋上の孤島「南鳥島」で実施したいと小笠原村に申し入れた。同島には住民は戻っておらず、小笠原村の父島の村役場に申し入れ、説明会を開く。

### 高市首相「旧姓単記」法整備明記へ (朝日 3/6)

男女別姓に反対する高市首相は、その代わりとして「旧姓」の使用を主張しているが、旧姓と戸籍姓の併記が要求されることが多い。それに対して「旧姓単記」を一部で許容することで対応する方向で検討している。

### 与党、殺傷兵器の輸出を容認 (朝日 3/7)

自民党と日本維新の会は、3月6日に、武器輸出を規制する「防衛装備移転三原則」の運用指針の見直しに向け、高市首相に提言を提出した。内容は、武器輸出の目的を「救難・輸送・警戒・監視・掃海」に限定する五類型を撤廃、国際共同開発品の第三国への輸出を認めるとした。また戦闘が行われている国にも「特段の事情がある」場合は輸出を認める。

### 実質賃金13カ月ぶりに増加 (朝日 3/9)

厚労省の毎月勤労統計によると1月の実質賃金は前年と比べ 1.4%増となった。ガソリンの級暫定税率の廃止などで物価上昇が 1.7%であった。

### 世論：武器輸出緩和に反対 56% (神戸 3/9)

共同通信社が3月7-8日に行った世論調査によると、「防衛装備品の輸出ルールの緩和で、殺傷能力のある武器輸出」を「認めるべきでない」が 56.3%、「認めるべきだ」が 36.9%となった。特に女性の反対派は 69.7%と顕著となった。

### 世論：首相ギフト不適切 65% (神戸 3/9)

同じ世論調査で、高市早苗首相による、先の衆議院選挙で当選した自民党議員へのカタログギフト(3万円)の配布については、「適切ではない」が 65.7%、「適切だ」は 30.2%であった。高市政権の支持率は3%ダウンの 64.1%であった。

### 案内 3/21外交・防衛政策と沖縄」集会



「とめよう！戦争への道・めざそう！アジアの平和」「2026年 関西の集い」が3団体の共催で開かれる。

日時：3月21日 13:30 集会  
場所：エルシアター(エルおおさか)  
主催：大阪平和人権センター  
しないさせない戦争協力・関西戦争をさせない 1000人委・大阪

### 案内 3/22 皆で話そうパレスチナの平和、日本の戦争



パレスチナを通して戦争や平和について考えるようになった若者たちと、日本の戦争の歴史に向き合ってきた市民運動のメンバーが語り合います。ここから何が出来るかを・・・

日時：3月22日(日)13:30～  
場所：阿倍野市民学習センター

### 案内 3/27 原発いらナイト in 宝塚 156回

毎月の最終金曜日に宝塚駅前で、反原発と全ての原発の廃炉をめざして楽しくチラシ配布しています。サクソフォン演奏をバックに今回は156回目です。

日時：3月27日(金曜日) 17時～18時  
場所：阪急宝塚とJR宝塚の連絡橋で

### 案内 4/3 高市内閣の改憲暴走を止める！



高市内閣が暴走を始めています。自己都合だけの突然の総選挙で多数を獲得。国会審議は「速さ」だけに関心を持って民主的運営を破壊。

講師：高作正博さん(関大教授)  
日時：4月3日(金曜日)18:30～  
場所：PLP 会館4階

### 6/7 原発のない明日を！全国集会 in おおさか

## トランプ大統領とネタニヤフ首相のイラン攻撃を糾弾！ 国際法違反のむき出しの侵略攻撃を許すな！

トランプ大統領は、イランとの核問題交渉の継続中であつたのに突如イランに対する全面的な攻撃を開始した。イスラエルのネタニヤフ首相と連携し、ハメネイ氏の暗殺を優先し、攻撃を開始するという、全く国際法違反のテロ攻撃である。

トランプは1月のベネズエラ攻撃と同様に、議会審議もなく突然戦端を開いた。日本に対して「パールハーバーを忘れない」と奇襲攻撃を糾弾しながら、米国の戦争は圧倒的武力を使った奇襲である。しかし、アフガンでもイラクでも敗北を重ねている。

トランプの異様な対応に圧されて、英・独・仏も支持している。スペインのサンチェス首相は「紛争と爆弾だけで世界の問題を解決できると考えることに反対する」「直ちに敵対行為の停止を！外交的解決を引き続き要求する」とテレビ演説を行った。

### 高市政権は侵略に加担するな

高市首相は今回のイラン攻撃について「イランの核兵器開発は許さない」と攻撃を事実上支持した。19日からのトランプとの会談では、米国の侵略に加担することなく、即時停戦を要求すべきだ。

## パレスチナ土地の日 連帯集会に参加しよう

3月29日(日)15:00～  
新阿波座公園

自衛隊も中東に送るな！イラン侵略弾劾！  
2026. 3/29(日)  
関西ガサ緊急アクション  
パレスチナ土地の日  
連帯集会&デモ  
集会 15:00～@新阿波座公園  
→ 16:10 御堂筋デモ出発  
イスラエルによる不法な土地収奪に抗議する日です。  
闘うなかまからのアピール  
丹川口真由美さん「苦いコーヒーと甘いデーツ」ほか